

残暑お見舞い申し上げます。

例年にない暑さ、大気の変動など多い夏ですがお元気にお過ごし下さい。
2017年 夏 日本共産党 大洲市委員会

戦争法案・内部文書 この暴走は言い逃れできない

防衛省が、戦争法案の成立を前提に、自衛隊の部隊編成計画まで記載している統合幕僚監部の内部文書が存在することを認めました。しかも、同文書が、中谷元・防衛相の指示によって、国会での審議が始まってもない段階で作成されていたことも明らかにしました。国民の反対世論や国会審議を無視した、戦争法案成立ありきの言語道断の暴走であり、安倍晋三政権の責任は極めて重大です。文書は、米軍と自衛隊に関わる政策や運用面での調整を行う「同盟調整メカニズム」を常設し、その下に「軍軍間の調整所」を設置し、「日米共同計画」を策定すると明記しています。防衛省は法案の内容説明のための資料だとしていますが、文書は法案の成立を受けた「今後の進め方」まで検討しており、言い逃れは不可能です。河野克俊統合幕僚長の証人喚問をはじめ、国会での徹底した真相究明が必要です。

9月議会の日程が決まりました。

9月8日が初日です。8日までに、皆さんの要望や声をお聞かせください。お誘い併せて傍聴においでください。

また、6月議会報告を読んでものご感想、ご意見などもお寄せください。

月日	曜日	会議区分	摘要
9月8日	火	本会議	市長提出議案説明
9月14日	月	本会議	質疑・質問
9月15日	火	本会議	質疑・質問
9月16日	水	本会議	質疑・質問・委員会付託
9月17日	木	委員会	付託議案審査(総務企画・厚生文教)
9月18日	金	委員会	付託議案審査(産業建設)
9月24日	火	本会議	委員長報告・質疑・討論・表決



戦争を美化する教科書の採択させない！

この夏、4年に一度の中学校の教科書採択が行われます。教科書展示会場で、「育鵬社版は安倍首相の写真が多く、ファンクラブの会報みたい。」と驚きの声が上がっています。「大東亜戦争と書かれ、アジア諸国の開放に寄与した」と戦争を美化する教科書を採択させない事が求められます。

教育委員会に、安倍政権の「戦争する国の子どもを育てる教科書」は、採択しないように求めてまいりましょう。

大洲市教育委員会による教科書の採択は下記の日程で開かれます。

是非、傍聴しましょう。

日時 8月31日 午前10時から

場所 大洲市役所別館3階 第2会議室



山鳥坂ダム建設継続の方針承認 (愛媛新聞 8月12日号)

右記の記事は、愛媛新聞の8月12日付けです。事業の継続を決めたと報道されています。事業評価監視会の委員は、学識経験者等8人と書かれていますが、地元の大洲市のどなたが委員でいるのでしょうか。なぜ、地元の大洲市で、委員会を開かず、松山で開くのでしょうか。本来、中予分水ではじまった事業であり、分水がなくなったらやめるべきものです。委員からは、意見がなかったと書かれています。国土交通省のいいなりの委員会では、肱川の自然も暮らしも守れません。本当に市民をおき去りにした事業の進め方です。

中村知事は、中予分水問題で、肱川流域に多くの混乱と迷惑をかけながら、今度は、西条市に矛先をむけています。

山鳥坂ダム建設継続の方針承認
整備局事業評価委
国土交通省四国地方整備局の事業評価監視委員会が31日、高松市であり、山鳥坂ダム(大洲市)建設事業について委員から意見はなく「継続」とする整備局の方針を承認した。
山鳥坂ダムは肱川の洪水調整や流量確保を目的に2026年度完成予定。総事業費850億円。15年3月末時点の事業進捗(しんちよく)率は27%で、15年度は工事用道路や付け替え県道の工事、用地補償などを実施している。
監視委は学識経験者ら8人で構成。社会情勢などの変化を踏まえ、管内の公共事業の必要性や妥当性を検証している。(植木孝博)